

海老名市立大谷中学校 学校運営協議会 議事録

(令和5年度 第1回)

- 1 日時 令和5年6月22日(木) 15:00~16:20
- 2 場所 海老名市立大谷中学校 校長室
- 3 出席委員 熊澤美恵子委員長、菌口美佐子委員、遠藤俊枝委員、吉田存委員
吉田守委員、長久栄子委員、村松かおり委員 (記録 竹島和也教諭)

4 会議の内容

(1) 令和5年度の学校経営について

ア 学校経営方針

3月の第3回学校運営協議会において提示した案と大きな変更はない。重点目標は「当たり前を見直す」とした。感染症に係る考え方が大きく変化する中、改めて学校生活の様々な活動を見直すことにより活動の質を高め、生徒の成長を図りたい。

*市のガイドラインに代わる「5月8日以降の学校生活について」も併せて説明

イ 年間計画

- ・昨年度、家庭訪問に代わり年度初めに計画した二者面談を継続。家庭訪問は今後実施しない方向。
- ・卒業式は公立入試日程に絡み、例年より遅く3月12日の予定。今年度からほとんどの高校で面接を実施しないため、3年生の進路に伴う予定が変化しそう。

熊澤委員：中間テストは実施していないのか。

村松委員：定期テスト(期末・学年末)は各学期1回ずつ実施。教科ごとに随時単元テスト等を行っている。

ウ 学校・学年行事等の実施状況

- ・修学旅行、鎌倉校外学習、野外活動は天気に恵まれ予定通り実施。実施の可否を心配せずに、本来の目的を大切にできたことが成果の1つ。
- ・稲作体験学習も、今週1年生が田植えを済ませ順調にスタートを切った。
- ・地域との交流の側面を持つ中央農高体験学習に、数年ぶりに2年生が参加した。
- ・市のひびきあう教育研究委託を受け、授業改善・職員の指導力向上を図っている。

エ 授業・部活動等の状況

- ・制限なく授業計画を立てることができるようになったことの効果は大きい。
- ・保護者や生徒の応援に関して制限は設けず、部活動の夏季大会が始まる。

(2) 意見交換

村松委員：部活動の地域移行に向けての動きが進められているが、適切な指導者の確保や活動時間の設定、保護者の負担感等課題は多い。

吉田存委員：気持ちはあっても、学校（顧問）とのつながりがないと関わりにくい。

熊澤委員：教員の確保のために採用試験の日程を早めるという動きがあるが、小手先の改革でしかないのでは。

藺口委員：誰もが教員にマイナスイメージを持っているわけではない。「保護者のクレームが辛そう」という声は聞く。

吉田守委員：優秀な人材をどのようにして確保するか、真剣に考えないといけない。

吉田存委員：金銭面・人材の確保がないと改革はできない。余裕があった時代の踏襲ではなく、今の時代に合った働き方を見直すことが重要。

藺口委員：カラー版の学校だよりだと様子がよくわかるので、ホームページに載せてはどうか。→個人情報の問題を踏まえ検討していく。

5 連絡

・10月23日（月）に、中学校区での学校運営協議会の内容を加えた形で、海老名市コミュニティ・スクール連絡会が開催される。後日正式案内、是非ご参加を。

・第2回学校運営委員会

日 時 令和5年12月12日（火）14:00～

内 容 授業見学

2学期の様子等について